

2023年12月期 決算説明会 Q&A

日時：2023年4月28日(金) 18:00～19:00

No	項目	Q	A
1	全社	1Q実績のうち、計画に対しての上振れや下振れのアイテムがあれば教えてほしい。	全体としてはインライン (上振れ) ACBの海外向け (下振れ) CMPの油圧機器事業は中国の影響により弱含み。
2	全社	BSののれんの増加は、どのような企業を買収したことによるものか。また、計画には織り込まれているのか。	2023年1月にフランスの自動ドア販売代理店を買収したことによるもの。(売上規模は年間数十億円) 通期計画には織り込み済み。
3	全社	価格転嫁や原価低減が計画通りに進んでいるのかどうか、進捗状況を教えてほしい。	価格転嫁については、少し発現が遅れている部分もあるが、通期ではしっかり刈り取れると考えており、年間見直しに変更なし。
4	全社	計画に比べてコストアップになっているか。	原材料費は一部想定よりも上がってきており、その点はリスク要因。追加の価格転嫁も検討が必要。
5	精密減速機	精密減速機の受注が計画に比べて遅れている要因を教えてください。	中国でのEV自動車メーカー向けの大型案件の受注が遅れたが、一部は4月に受注が入り、今後も受注が続く見通し。
6	精密減速機	精密減速機での製品構成差悪化影響は2Q以降も残るのか。またコストダウンの内容は？	年初からFAの景況感が強くないこともあり、2Q以降も影響が残る可能性がある。ベアリングの内製化や、サプライヤーとの協議も含めたコストリダクションを行うことで対応したい。
7	精密減速機	精密減速機のロボット向けとFA向けで製品構成差が起こる背景を教えてください。	ロボット向けは大量生産であるのに対し、FA向けはカスタマイズ品が中心であるため構成差が発生する。
8	精密減速機	今後の精密減速機の需要の見方について教えてください。	当社の受注環境は好調だが、顧客のヒアリングを行うと半年前と比べたときに最終顧客の投資マインドに変化が起きていると感じている。EVの需要は底堅いものの、継続性は注視が必要。
9	油圧機器	油圧機器で競争激化とあるが、現地の油圧機器メーカーとの競争なのか、建機メーカーの内製品との競争なのか教えてください。	両方ある。過去から内製化や外注を価格等に基づき選択してきたようだが、現在は競争環境が一層厳しくなっている。
10	油圧機器	油圧機器の中国市場について、市場成長の見方は、計画と比べて変化があるか。	1Qの時点では想定よりやや下回っているが、中国の状況を見ると不動産の動きも活発化していることに加え、下期にかけて政府が景気刺激策を打つ可能性も加味し、市場の回復を期待している。
11	油圧機器	油圧機器の原価低減の進捗や効果を教えてください。	従業員を一部高稼働が続く精密減速機事業へ配置転換している。また、戦略商品の販売を増やし、収益改善を行いたい。
12	TRS	TRSの利益率が改善しているが、要因はなにか？	MROが好調であることや、船用機器や航空機器における売上の伸びがけん引したことによる。
13	TRS	TRSセグメントの価格転嫁について、どの部門で進展しているのか教えてください。	原材料価格高騰部分についての価格転嫁の交渉を行っているが、鉄道車両用機器事業、商用車用機器事業、船用機器事業で進んでいる。航空機器も、防衛向けについては認められている。
14	包装機	包装機市場を2Q以降慎重にみているとのことだが、1Q好調だったのは一時的なものか。	MROについて、電子部品の調達不足が緩和し、1Q以降も好調が続く見込み。 一方、顧客は新規設備投資へ慎重になってきているようだ。